

強者の戦略

2022 年度 東大地理 第3問〔問題編〕

日本の都市と農業にまつわる出題です。いつもいつも東大の問題には感心させられます。「いま」に関わる問題あり、典型的な問題と思わせて実は頭を働かせないと解けない問題ありと、出題者の情熱を感じずにはられません。みなさんもぜひ楽しんでこの問題を解いて欲しいと思います。

【2022 年度 東京大学 文科前期 第3問】

日本の都市と農業に関する以下の設問A～Bに答えよ。解答は、解答用紙の(ハ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入せよ。

設問A

図3—1と図3—2は、東京都心から北東方向約30kmに位置するX市の北部を中心に、異なる時点の国土地理院発行の2万5千分の1地形図をもとに作図したものである。図3—1によると、台地の部分で、1960年代から大規模な土地改変が行われる一方で、(1)従来からの地形と土地利用との対応関係も読みとれる。

X市では、第2次世界大戦前に飛行場や軍需工場などが置かれていたが、それらの土地が戦後、アメリカ軍に接収され、その通信施設となっていた。図3—2では、米軍通信施設跡地が、大きな公園や総合競技場、住宅団地、大学の新キャンパスに変わっていることがわかる。

図3—1と図3—2を比べると、交通体系が大きく変わってきたことがわかる。図3—2では、高速道路がみられるが、(2)高速道路のインターチェンジ付近を詳しくみると、工業団地の敷地内も含め、新たな施設が建設されてきている。

鉄道の新線が開通し、新たに駅が設けられたことも大きな変化で、(3)X市では、図3—1の大規模改変とは異なる新しい空間が出現し、これまでのX市の産業構造を変えるような動きや「スマートシティ」をめざす新たな街づくりが進められてきている。

- (1) 下線部(1)に関して、図3—1から読みとれる地形と土地利用との対応関係を、1行以内で述べよ。
- (2) 下線部(2)に関して、どのような施設が建設されてきているか、そうした変化の理由とともに、2行以内で述べよ。
- (3) 図3—3は、2010年、2015年、2020年におけるX市内のA地区、B地区、C地区の年齢階層別人口構成の変化を示したものである。A地区、B地区、C地区は、図3—2に太枠で示した地区①、②、③のいずれかに該当するか、A—○のように答えよ。

強者の戦略

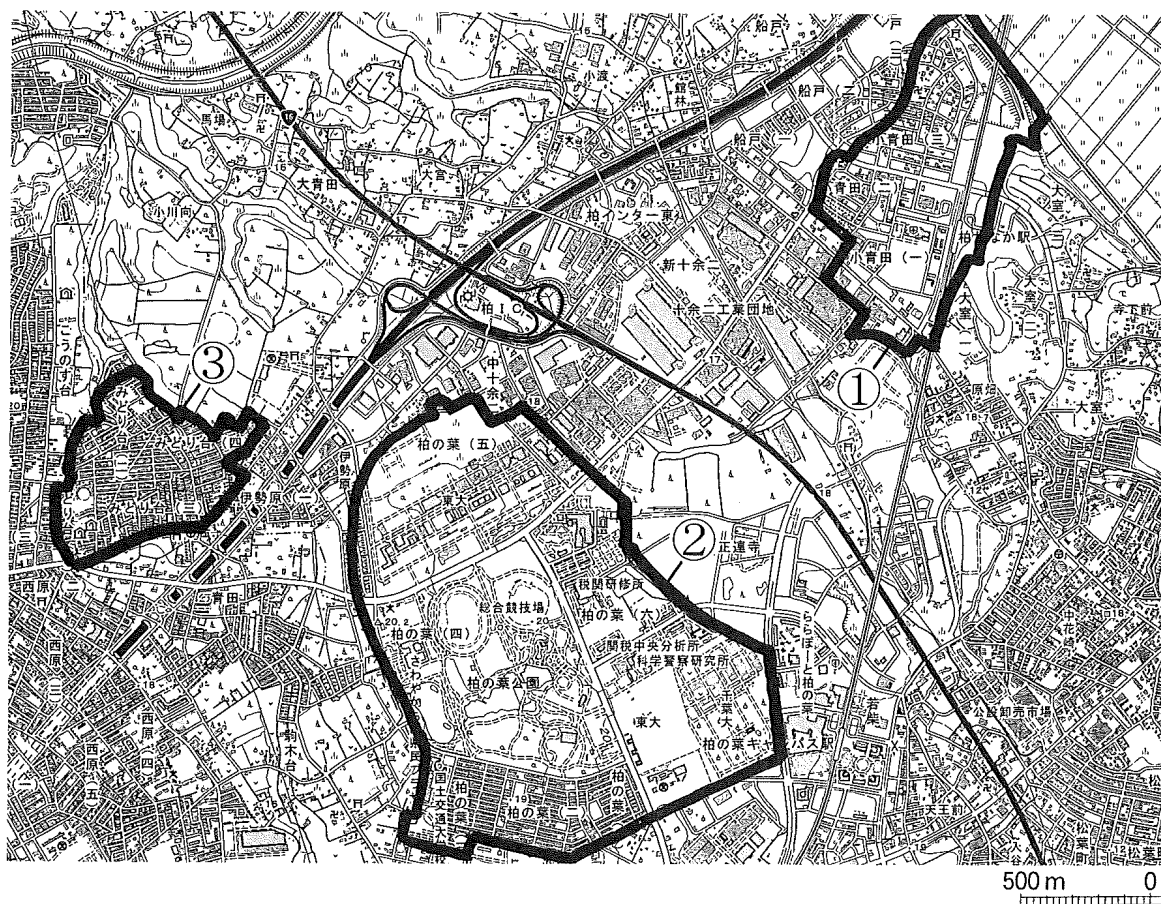


図 3—2

2019 年発行の 2 万 5 千分の 1 地形図をもとに作図。

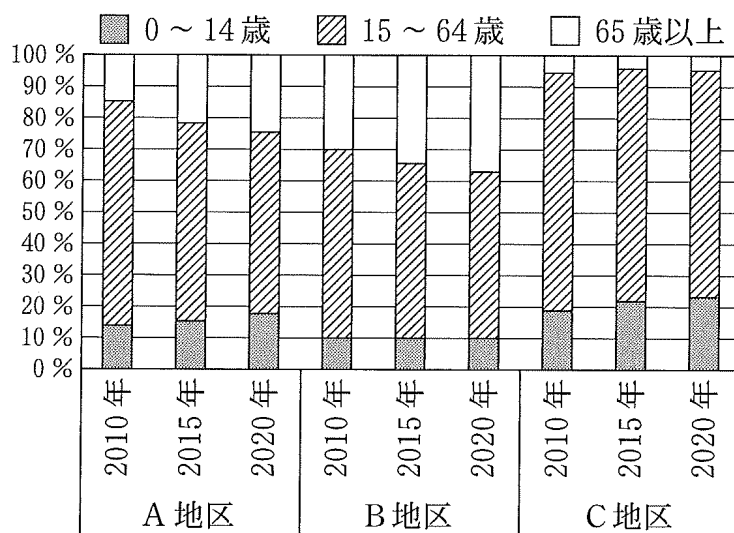


図 3—3

X 市の統計書による。

強者の戦略

設問B

日本の果樹生産は、様々な社会経済的事象に影響を受け、戦後から現在にかけて変化してきた。表 3—1 は、果樹 5 種の 2018 年の都道府県別収穫量を、上位 5 都道府県に絞り示している。また、図 3—4 はみかんとりんごの 1960 年から 2018 年までの作付面積の推移を表す。図 3—5 と図 3—6 は、みかんとりんごそれぞれについて 1990 年から 2018 年までの輸出量と輸出先を示している。

- (1) 表 3—1 のア～ウに該当する県名を、それぞれ、ア—○のように答えよ。
- (2) 表 3—1 によれば、ブルーベリーの収穫量第 1 位は東京都である。東京都でブルーベリーの栽培が盛んな理由を 1 行で説明せよ。
- (3) 図 3—4 をみると、みかん、りんごともに現在の作付面積は 1960 年比で減少しているが、その推移は両者で異なっていることが読みとれる。みかんの作付面積が一旦大きく増加しその後減少した理由を、以下の語句をすべて使用し、3 行以内で説明せよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

政 策 需 要 生産調整
- (4) 図 3—5 と図 3—6 の輸出量をみると、みかんについては減少傾向である一方、りんごは増加傾向にある。りんごの輸出量が増加している理由として図 3—6 から考えられることを、2 行以内で説明せよ。

表 3—1

順 位	みかん		りんご		な し	
1	ア	155,600	青 森	445,500	ウ	30,400
2	静 岡	114,500	イ	142,200	茨 城	23,800
3	愛 媛	113,500	岩 手	47,300	栃 木	20,400
4	熊 本	90,400	山 形	41,300	福 島	17,100
5	長 崎	49,700	福 島	25,700	鳥 取	15,900

順 位	う め		ブルーベリー	
1	ア	73,200	東 京	384
2	群 馬	5,740	群 馬	271
3	三 重	2,090	イ	259
4	神奈川	1,810	茨 城	240
5	イ	1,770	ウ	105

単位：トン

果樹生産出荷統計(みかん、りんご、なし、うめ)および特産果樹生産動態等調査(ブルーベリー)による。

強者の戦略

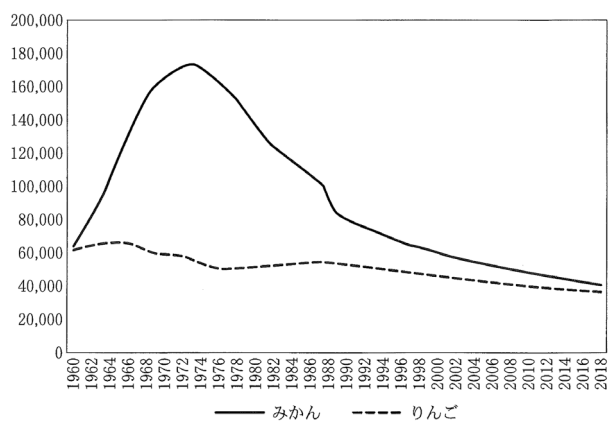


図 3-4

単位：ヘクタール

耕地及び作付け面積統計による。

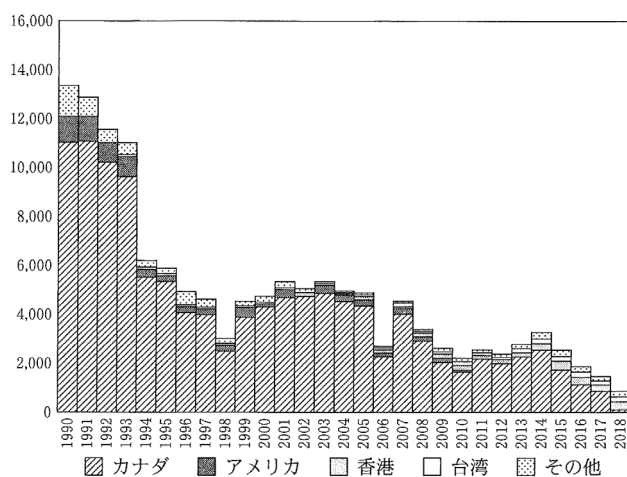


図 3-5

単位：トン

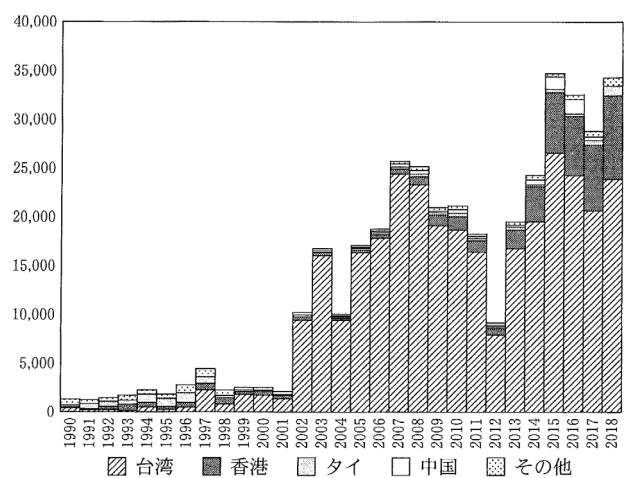


図 3-6

単位：トン

図 3-5, 図 3-6 は, どちらも貿易統計による。(川久保 2019 を改変。)